

令和2年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

**【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】**

令和3年3月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

## 1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勘次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー
3. 校長名 中野勘次郎
4. 認可 平成 21 年 3 月 25 日
5. 開校 平成 21 年 4 月 1 日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 134-38 (TEL) 053-455-2550
7. 課程 文化・教養専門課程

### 8. 学校の沿革

- 平成 7 年 3 月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
- 平成 7 年 4 月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
- 平成 17 年 4 月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更  
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
- 平成 20 年 3 月 学校法人爽青会 認可
- 平成 21 年 4 月 専門学校ルネサンス・ペット・カデミー独立開校
- 平成 26 年 3 月 設置 4 学科で職業実践専門課程認定
- 平成 27 年 4 月 動物看護・理学療法科 3 年制課程開始
- 平成 28 年 2 月 ISO29990 取得
- 平成 28 年 4 月 ペットエステ・トリミング科 3 年制課程開始
- 平成 30 年 7 月 本部棟の竣工
- 令和 2 年 6 月 ISO29993 取得

### 9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝く学校になる)

### 10. 教育目標

日本人の徳性を活かし、人への配慮を最優先し、自然や動物と共に生きる社会づくりを世界に発信する

#### 重点項目

- ・新型コロナウイルス感染症への対応
- ・すべての評価制度の見直し
- ・令和 3 年度の業績 V 字回復
- ・新規学生の発掘
- ・オープンキャンパス動員への動線強化
- ・学生の意欲減退への対策
- ・動物看護師国試養成校化への準備
- ・社会人向け新教育商品の検証
- ・ペット系進学希望者の視点拡大

### 11. 設置学科

動物看護師科3年制（昼3年 男女 定員15名）

動物看護師科2年制（昼2年 男女 定員25名）

ペットエステ・トリミング科3年制（昼3年 男女 定員15名）

ペットエステ・トリミング科2年制（昼2年 男女 定員25名）

ドッグ・ウェルネス科（昼2年 男女 定員40名）

動物海洋飼育・アクアリウム科（昼2年 男女 定員40名）

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

12. 学生数（令和3年2月1日現在） 213名

13. 教職員数（令和3年2月1日現在） 22名

14. 学校建物面積 2357 m<sup>2</sup>

## 2 自己点検・自己評価委員会

### 1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 教頭 藤原研一
4. 教務部 村瀬晋司
5. 教務部 早房陽
6. 教務部 堀内貴充
7. 教務部 北風孝広
8. 事務局 鈴木博昭

### 監査委員

1. 理事長代理 中野良太
2. ルネサンス デザイン・美容専門学校 教務部長 前田健一

### 2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 令和3年1月12日 自己点検・評価委員会 第1回会議  
令和3年1月18日 自己点検・評価委員会 第2回会議  
令和3年1月25日 自己点検・評価報告書内部監査  
令和3年1月27日 設置者への報告  
令和3年2月12日 学校関係者評価委員会  
令和3年3月6日 学校法人爽青会理事会報告  
令和3年3月8日 第1回講師会にて共有  
令和3年3月31日 ホームページにて外部への公開

## 3 学校関係者評価委員会

### 1) 委員名簿

1. 鳥居 春仁 常葉大学浜松基礎教育センター長
2. 上野 弘道 公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長
3. 安武 伸朗 常葉大学造形学部長／キャリアセンター長
4. 平井 伸幸 株式会社レボル代表取締役社長
5. 坂元 祥彦 一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事

### 2) 開催日・場所

- 令和3年2月12日 学校法人爽青会 本部館201教室にて開催

#### 4.評価一覧【適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1】

1 教育理念・目標		自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント	
1	1	理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念・目的・育人人材像は原点確認資料に明示されている。 教員には1月の原点確認研修にて、学生には学生必携を用 いて4～5月のオリエンテーションにて周知されている。	4	不易の取り組みとして高く評価出来る(安武)
1	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査してい るか	4	インターン実習にあわせて行われる企業訪問(コロナ禍では 電話)や年2回の教育課程編成委員会等により業界の動向や ニーズを調査して次年度教育計画を定め、学校関係者評価 にてニーズ調査の点検を得ている。	4	報告内容の共有のしくみについて理解できた。さらに様々な 具体的なカリキュラム改善に活用されているものと推察できる (安武)
1	3	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者 がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にさ れているか)	4	教育課程編成委員会で得られた「業界で求められる知識・技 術レベル」を踏まえ、各学科の教育目標や育人人材像が 「mission vision 5つの約束」としてまとめられている。	4	不易の取り組みとして高く評価出来る(安武)
1	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	「教育の質の高さ」を裏付ける講師陣や設備、カリキュラム、 外部研修などを学校案内や公式サイトで明確化し、紹介して いる。	4	不易の取り組みとして高く評価出来る(安武) 学校案内から 与える印象が良い(上野)
1	5	理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4	学生には学生必携により、保護者にはOC保護者説明会、就 職保護者会資料により、その他外部には公式WERサイトによ り、周知がなされている	4	オンライン開催など(資料含め)取り組みの継続性が評価でき る(安武)

##### ① 課題

コロナ禍においても状況に応じた計画の変更によって教育は遂行出来たが、非常時対応の教育の在り方については引き続き検討が必要である。

##### ② 今後の改善方策

事業継続計画(BCP)を策定を開始する。危機管理規定の検討を開始した。

##### ③ 特記事項

特になし。

2 学校運営			自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	職業実践専門課程認定校のフォローアップ確認への適切な対応や、社会・業界の要請をキャッチして行うカリキュラムの見直しなど、認定要件に沿った運営をしている。コロナ禍にあっても安全に対面授業が出来る体制を構築し、教育の実施との両立を図った。	4	
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	寄付行為・就業規則に意思決定システムは明文化している。また理事会での承認や教務部会での討議、業務分掌による担当の一覧化など、有効に機能する仕組みがある。	4	
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務に関しては2-2と同様。財務においては、経理規定で明文化されており、法人本部を中心に適切に整備運用されている。	4	
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	各校各科で検討された課題等を整理し、理事会・評議員会討議資料としてまとめ、理事会の承認の元、事業計画(運営計画)を遂行している。	4	
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	12月に初案、3月に最終版として教育運営計画書を策定し、講師会で非常勤講師との共有、学生必携にて学生及び保護者への周知をし、教育活動が適切に進行する仕組みを持つ。	4	
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	働き方改革に対応した就業規則の改定および人事制度の見直し、業務フローの効率化や就業風土の改善が進み、人事制度は一層整備された。副業に関する規定を新設し、2021年度から運用する。	4	副業について変化に敏感に対応されている御校らしい素晴らしい取り組みだと思う(上野)
3	7	専任教員は適正に配置されているか(専任教員や非常勤講師の過当たりの担当コマ数などの講義・実習負担は妥当であるか)	4	教育計画により定められたカリキュラムを遂行する人材を配置できている。授業の内容も職員同士、または学生からの評価も参考にしている。	4	
2	8	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	4	3月8月の講師会を定例会とし、教職員と非常勤講師の情報交換の場を持っている。授業の前中でコミュニケーションも密にし、授業進捗や学生状況の共有に努めている。	4	コロナ禍などの通常とは異なる教育活動において、(教育の質保証の観点で)非常勤講師との連携が大変重要になると思う(安武)
2	9	業界や地域社会等からの意見の収集・分析・応答の仕組ができていますか(苦情及び要請への対応を含む)	4	意見や要請については、教頭の指示のもと、内容により教務部会や学科間で適宜対応している。窓を開放しての授業に関連し近隣より騒音等のクレームが入り、教務部で共有し対応を決定している。	4	資料に基づいて評価できる(安武)
2	10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程および修学支援新制度の情報公開要件に基づき、学校情報を公式WEBサイトにて公開している。	4	Webの内容が適切と判断できる(安武)
2	11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	グループウェアの活用やサーバでの状況共有、学生アンケートのWEBサービスの活用など、情報システム化を進めている。2020年度はGoogleツールの活用によるオンライン体制を強化した。	4	新しい取り組みが評価できる(安武) 時代にあわせて適格に変化をされていると思う(上野)
2	12	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか(モニタリング及び評価の結果を考慮して、学習サービスの改善・変更を実施しているか)	4	資料にて集約される評価結果をもとに、月1回の経営会議において学校運営仕組みや手法の適切性を協議し、必要な改善を月単位で実施している。3月～5月は臨時幹部会議を開催し、コロナ対応を迅速に協議し、教員と学生の混乱を最小限に抑えた。	4	前年度に準じた運営が継続されているものと判断できる(安武) コロナ対応を迅速に行われていたとのこと、良い対応と思う(上野)

2	13	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	学生とは恒常的に、保護者とは保護者会後や進級前の3月に面談を行い、要請等を収集し解決にむけて取り組む仕組みを持つ。学内でのコロナ発生時のフローチャートを作成し、迅速な対応が出来るよう準備した。	4	前年度に準じた運営が継続されているものと判断できる(安武) フローチャート作成と感染者なしは適切な対応のおかげと思う(上野)
2	14	学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	学生必携に学生相談の項目があり、担任や相談室を紹介している。またハラスメントに対応した連絡先を用意している。	4	前年度に準じた運営が継続されているものと判断できる(安武)

① 課題

密の回避、インターン実習運営、県境をまたぐ通勤通学、窓の開放など、引き続きコロナ禍での安定運営が課題である。

② 今後の改善方策

2020年度に緊急的に実施した対処を精査し、さらに適切な方法を検討、実行する。

③ 特記事項

特になし。

3 教育活動		自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント	
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	学生必携に各科目ごと記載し、学生・教職員に周知している。また、授業アンケート等をもとにシラバスは毎年反省と見直しを行っている。コロナ禍で春の休校があっても学習時間を確保する予定変更を速やかに実施した。	4	
3	2	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	出願書類にて入学要件を満たしているかを確認の上、入学試験面接にてスキルや要件の詳細を確認し、合否を判定している。2020年度についてはオンライン授業の実施に向けた家庭のwi-fi環境も確認した。	4	適切対応されていると思う(上野)
3	3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	教育課程編成委員会を各学科単位で毎年度2回編成し、職業教育の視点から教育方法の工夫・開発を行っている。2020年度は対面型にオンライン授業を取り入れた。	4	現実的な業務として最善の工夫が行われていると判断した(安武)
3	4	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に沿った教育課程の編成及び実施方針等が策定され、公表されている。三河地区より県境を越えて通勤通学する学生や非常勤講師の登校ポリシーを速やかに決め、実施した。	4	
3	5	少なくとも年1回、カリキュラム、学習教材及びアセスメント教材の見直しを行っているか	4	インターンシップや教育課程編成委員会を通して情報を集約し、毎年カリキュラムの見直し、作成が行われている。また、教材等は学科毎で毎年見直しをしている。	4	
3	6	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	4	シラバスを共有し講師同士の連携を含めた資格取得の指導体制があり、カリキュラム内での体系的な位置づけがなされている。動物看護師の国家資格化に向け、指導体制準備のための情報収集を綿密にしている。	4	
3	7	講義および実習に関するシラバスは作成されているか(学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか)	4	学科等カリキュラムは体系的に編成され、その内容に即したシラバスを作成し、適切に運営されている。5月のオンライン授業期間では、通年で予定されていた講義を前倒し実施するなどの修正を行った。	4	
3	8	シラバス(作成されていればコマシラバス)には到達目標が記載されているか(Can-Doを意識した到達目標の明示)	4	シラバスにCan-Doを意識した到達目標が記載されており、学生に配布、又は各教室に常時閲覧できるよう配置されている。	4	到達目標の言い回しが「～できる」と具体的であり、かつ明快な点が評価できる(安武)
3	9	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	4	年間予定に沿って、事前に計画された実習や講義が行われている。企業で行うインターンシップは、第三者による評価が行われ、項目に沿って学生の教育と評価が進められている。3月～5月に予定されていたインターンシップは6月以降に補填し概ね予定通り実行できた。	4	
3	10	学習サービスの設計時に、予定しているモニタリング及び評価の手順を明確にしているか	4	学生必携の評価規定および評価方法にて、学生にその手順を明示している。またシラバスにて各科目ごとの試験方法を記載している。	4	
3	11	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に配布され、授業で有効活用されているか(あるいはホームページなどで公開されているか)	4	講義要項の記載がある学生必携はオリエンテーションにて配布され、シラバスは各クラスに配架し、授業初回に授業担当者より必要に応じて配布されている。	4	
3	12	実技・実習が講義と連動していたり、講師と学習者の比率をカリキュラム設計時に考慮するなど、効果的学習に配慮されているか	4	講義と実習の連動を明確にしたカリキュラムマップを作成している。また受講者の多い実習授業にはアシスタントを付けるなど、効果的な学習に配慮している。学外実習にて学ぶ内容の一部はオンラインセミナーにて代替した。	4	オンライン対応への切り替えが良い(上野)

3	13	カリキュラムの作成・見直し等に関し、定期的に外部者(企業・団体、学会・協会、関連する業界団体等)の評価や意見を取り入れているか(ニーズ分析の結果を利害関係者間で共有しているか)	4	年2回の教育課程編成委員会において、外部委員より業界が求める知識技術を聴取し、カリキュラムの作成や見直しに活用している。コロナ下での授業運営については同分野他校と情報交換し対応した。	4	
3	14	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備され、公表されているか	4	学生必携内で履修をする上での規定やマニュアルを示し、オリエンテーションにて説明している。専門分野における職業倫理等については、同細則で示している。	4	
3	15	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	4	学則にて規定された基準は学生必携にて明記され、学生に配布し周知されている。成績書の見方に関しては、改めて保護者にも資料を配布し説明している。	4	
3	16	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか(スポンサーの学習サービスに対する満足度の分析、並びにスポンサーからの学習サービスの質向上に関するフィードバック及び提案の分析を含む)	4	外部委員からの意見交換の場は年間計画に組み込まれており、それぞれ議事録として残してある。また、頂いた意見で即改善できるものは改善し、次年度の運営に関しても反映されている。保護者に対しては保護者会や三者面談にて意見を確認している。	4	現実的な業務として最善の工夫が行われていると判断した(安武)
3	17	アセスメントの結果は、公平性、透明性及び守秘義務の原則に鑑みて、確立された権限又は正当な承諾を得た者のみ閲覧可能とされているか(閲覧制限)	4	個人情報を含むサーバーへのアクセスには権限を設けている。また、個人情報の取り扱いは就業規則・講師会資料にて周知している。	4	
3	18	カリキュラム設計及び開発の経験を有している、もしくは訓練を受けたファシリテーターなどが、カリキュラムの設計及び開発を担当しているか	4	教頭、各学科長および事務局責任者にてカリキュラム編成会議を実施し、教育課程編成委員会での意見を踏まえてカリキュラム設計及び開発を進めている。2021年度に本格化する動物看護師の国家資格カリキュラムへの改定に向け、2020年度に該当教員は検討会議を聴講するなど専門性の向上に努めている。	4	現実的な業務として最善の工夫が行われていると判断した(安武)
3	19	学習教材は、学習内容の実際の有用性を考慮した実践的かつ最新のものであり、社会的ニーズ、文化的ニーズ及び学習者の背景を考慮して選択されているか	4	教科書や実習で用いる道具等については、国内外の最新の情報を仕入れ、授業担当者の意見を入れつつ適切に選定している。オンラインセミナーやオンデマンド動画などを積極的に取り入れた。	4	現実的な業務として最善の工夫が行われていると判断した(安武)
3	20	カリキュラムを設計又は見直す際に、過去に提供した類似の学習サービスに関する評価の結果を考慮しているか	4	授業アンケートや学生満足度調査にみられる現在および過去の学生の意見を参照しつつ、カリキュラムを設定している。	4	現実的な業務として最善の工夫が行われていると判断した(安武)
3	21	学内で使用又は開発した学習リソース(資源)の出典及び著作権について、適正に処理できているか	4	新人教員マニュアルにて、教育機関における著作権を教育している。	4	

### ① 課題

対面型授業を基本としつつ、やや一方通行になりがちなオンライン授業をより双方向的に活用できる授業方法の検討が必要である。

### ② 今後の改善方策

オンライン授業の実施方法を学ぶ教員向けセミナー等の聴講を推進する。

### ③ 特記事項

特になし。

4 学修成果		自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント	
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	4	学生必携にて卒業条件、進級条件を定め、学生に周知するとともに、進級卒業判定会議にて条件に従って進級卒業を認定している。測定する知識等や判定基準、試験方法は学生必携の評価規定で明示されている。	4	
4	2	就職率の向上が図られているか(卒業生の就職率)	4	就職率は毎年100%を維持している。現在は就職率より就職の質を重視している。コロナの影響で求人が減少した動物園・水族館就職も例年並みの内定数を獲得した。	4	例年同様に評価できる(明文化されない人的な工夫や仕組みの存在が見受けられる)(安武) 100%は素晴らしい(上野)
4	3	目標とする資格試験等への合格率はどうか	4	達成している。昨年課題とした愛玩動物飼養管理士2級の合格率も対策授業の改善により13ポイント向上した。	4	目に見える成果が素晴らしい(上野)
4	4	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	4	オープンキャンパスでの情報提供や退学可能性の高い受験生を見極める入試など、退学率低下の施策は複数実施している。2020年は各科ごとに特別セミナーを実施し、退学抑止策を講じた。	4	退学率5.690という実績を考えると、低減の取り組みが機能していると判断した(安武)
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	4	卒業後の就職支援は卒業生及び企業の要請に応じ対応している。2020年度より公式WEBサイト卒業生ページに、卒業生からの問い合わせ先を掲載した。	4	高く評価できる(安武)
4	6	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	教職員の評価方法及び手段については、就業規則および人事制度マニュアルにて手段等を明示している。またカリキュラムは次年度計画実行予定表に基づき学生の試験結果や学生アンケートなどをもとに、教育課程編成委員会、カリキュラム編成会議等で評価している。	4	3-5、3-16等で、学内と学外(外部有識者)の評価を組み合わせ学修成果を計画していると判断した(安武)
4	7	要請があった場合には、学習者又はスポンサーに対して、a) 学習サービスの名称及び目的やb) 指導時間数、c) 達成度などの情報を含む修了証明書を提供しているか	4	年2回、各家庭に「成績書」を通知している。また要望に応じ、社会的通用性をもった成績証明書を発行している。	4	
4	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	7月と2月の年2回、企業訪問を実施し、企業の要望やそこに就業する卒業生から様子を聴取しているが、コロナ禍による企業訪問の制約・自粛のため、企業訪問数は減少したため、数こそ少ないが電話によるヒアリングを行った。	4	改善活用の実例は減少したと思われるが、活用の仕組み自体は変わらないと考え評価した(安武)
4	9	コースの開始前又は開始時に、学習者に関するコンピテンスのレベルについて、アセスメントを行っているか	4	入学願書と入試面接にて、学習者が有する理解力や職業適性等を評価し、可否を決定している。	4	
4	10	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	4	卒業ライセンス試験にて、専門とする分野における知識と技術の評価し、合格したものを卒業認定している。	4	

#### ① 課題

訪問が困難な状況においても電話やメール等の手段を用いて情報収集に努めた。情報収集の質と量の更なる向上を企図したい。

#### ② 今後の改善方策

取得する情報量の増加を目的として、インターンシップ時のアンケート依頼など、訪問・電話以外の方法での情報収集の仕組みを検討する。

③ 特記事項

特になし。

5 学生支援			自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか (またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか)	4	学生必携やキャンパスライフナビゲーションにて体制を周知し、就職課と担任とが連携して就職支援を行っている。転科という進路を選んだ学生の指導も適切に対応した。	4	
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか)	4	担任・キャリアカウンセラー資格所有者が在籍しているほか、外部カウンセラーによる相談窓口も設置している。	4	
5	3	保護者と適切に連携しているか(保護者のニーズを把握しているか)	4	オープンキャンパス保護者説明会、入学式後の入学説明会、就職保護者会、三者面談等、保護者との情報共有の機会を設定し、連携を強化している。2020年度はオンラインによる面談も実施した。	4	
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	希望者には夜間入学説明会を実施している。また、学校生活において年齢差に不安のある入学生には、必要なアドバイスを講じながら授業を運営し、卒業・就職の実績を残している。	4	
5	5	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか	4	卒業生に対する情報の提供や卒業セミナーを開催し、卒業後の教育支援を行っている。4月以降約120名の卒業生が来校しており、転職相談や近況報告、業務上の課題に指導等を行っている。	4	
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	図書室・カウンセリング、パソコン利用等については、学生必携とキャンパスライフナビゲーションに記載の上、周知している。2020年度に買い替えたPCは利用ルールを見直し、故障やトラブルが減少した。	4	PCのリテラシー教育が良い(上野)
5	7	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	修学支援新制度の認定を受け、運営初年度となる2020年度は遺漏なく手続きを進めた。また、オープンキャンパスや奨学金説明会にて、奨学金、教育ローン、独自の優秀生優遇制度を周知している。	4	
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4	毎年4月に学生健康診断を実施し、必要に応じた指導を行っている。今年度より健診バス来校による運用をした。アレルギー等についてはオリエンテーション等で個別に確認し、必要に応じて対応をしている。	4	
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	ボランティアや企業コラボレーションは随時学生に紹介し、必要に応じた指導を行っているが、コロナ禍により中止や変更が多い年度となったが、安易に中止とせず、可能なものは注意して参加した。	4	
5	10	学生の生活環境への支援体制はあるか (学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4	募集要項や学生必携に記載の上、希望者には物件案内を配布するなど支援を行っている。	4	
5	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校で行われる職業別説明会への参加のほか、複数高校にて提携授業を実施してキャリア教育連携を図っている。未来授業に積極参加し、主に中学校でのキャリア教育支援を強化した。	4	中学校でキャリア連携すすめてほしい(鳥居)
5	12	学習に関する要望、学習に関する要望を取り巻く状況及び通学の障害となる要因(距離や費用等)を理解し、解決に向けた提案を行っているか	4	遠方より通学の学生に対し通学支援制度を持つ。オープンキャンパスに来場したすべての入学希望者、保護者にアンケートを実施し、要望や不安を収集し、個別に回答あるいは相談にのっている。	4	

① 課題

課外活動について、コロナを理由とした中止や変更に対する対応は「オンラインや行先変更」等で出来る限り行った。この実績を発展させ、非接触型の課外活動の在り方を検討すべきである。

② 今後の改善方策

コロナ収束の今後の状況に応じて事前に複数案の計画を立て、教育効果の向上に努める。

③ 特記事項

特になし。

6 教育環境		自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント	
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	4	専修学校設置基準に基づき、教育施設は学生の履修を十分に満たしている。また高度な授業が継続的に提供できるよう、設備の新規導入及び修繕は適切に実施されている。人数の多いクラスを大教室に移動するなど、三密回避対策を取った。	4	
6	2	カリキュラム上必要となる実習に用いる教材・器材及びソフトウェア等を使用できる実習環境が整っているか。また必要な数の教材及びライセンスが準備されているか	4	約40台の学内配置パソコンを新調し、学生の使用環境が整備されており、ライセンスもシステム担当により適切に管理されている。備品のサーフェス20台を急遽オンライン対応ツールへと組み換えた。	4	
6	3	教員・講師に対して、学習指導のための教育訓練や教材の利用についての訓練を実施しているか	4	新規に授業をする非常勤講師に対しては、講師会の際に授業運営に関する研修を実施し、教育の質保証を図っている。	4	
6	4	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	8月の避難訓練、11月のシェイクアウト訓練を行うとともに、防災関連備品の拡充に努めている。またマスクや消毒液、フェイスガード、非接触型体温計を購入し、非常事態に備えた。	4	
6	5	防災に対する体制は整備されているか	4	ペット館・本部館のいずれにも地震防災応急計画等を策定し、防災に努めている。2020年より事業継続計画(BCP)の策定を開始した。	4	ペット避難への文言化は必要と思った。クラウドでのデータ管理をおすすめしたい(上野)
6	6	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	学生への事前授業や提携先との教育目的の共有に努め、研修後は日誌や報告書を中心とした振り返りを行い、教育効果向上に努めている。2020年度はコロナ禍による外部研修・実習計画の変更やオンライン対応をした年となった。	4	

### ① 課題

オンラインを活用した講演や授業が増加しており、今後も安定して継続するための環境や設備の強化が必要である。

### ② 今後の改善方策

wi-fi環境の強化、zoom等ID取得、オンラインに対応可能なPC、スピーカーマイク等の購入を予定している。

### ③ 特記事項

zoomIDは2021年1月に取得し、運用を開始した。

7 学生の受入れ募集			自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	学校案内パンフレット、募集要項、就職内定速報、WEBサイトを作成し、入学希望者に配布し情報提供している。また感染拡大防止に配慮した募集イベントを実施した。	4	DXの効果…1対1による募集活動が行われたことにさらに可能性を覚えた(安武) オンライン募集への移行が適切(上野)
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	インターネット出願システムを活用。入力項目に学歴・所有資格等を設定している。入力された情報は入学願書として出力し、面接書類とともにファイリングして管理している。	4	
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項、公式WEBサイトにて選抜方法、求める人材像、入学資格等を明示している。	4	
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	募集要項、公式WEBサイトにて学費、受験料、補助活動費等を明記し、学生と保護者に周知している。また入学誓約書にて学費承諾を文書で得ている。	4	
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか(評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか)	4	教育成果はオープンキャンパスの保護者会資料に記載の上保護者に説明している。また、就職内定速報を毎年作成し、成果を公表している。	4	保護者説明会資料が具体性があり評価できる(安武)
7	6	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学選考にて障がいがありそうな受験者を確認し、判定会議にて共有・検証している。必要に応じて担任と情報を共有し、必要な対策を取っている。対象者はやや増加傾向である。	4	
7	7	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	学生必携にて学生に、オープンキャンパス保護者説明会にて保護者に案内している。出席日数不足による進級卒業が困難な見通しの学生に対し、綿密に保護者と連絡を取り対処した。	4	
7	8	学納金は妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画と実績を比較検討し、適切な設定を行っている。	4	
7	9	学校運営責任者の情報や、教員・講師の適格性・経験などの情報を提供しているか	4	公式ホームページにて、理事長・校長氏名及び講師陣の氏名、写真や担当学科あるいは担当授業を開示している。シラバスには担当講師の実務経験の記載をしている。	4	
7	10	学習者の満足度に関するフィードバックを入手する手順、並びに彼らの要求、提案及び苦情に対応する手順など、学校生活での支援体制について入学前に伝えているか	4	年2回の授業アンケートと年1回の学生満足度調査の存在をオリエンテーション等で周知している。日常の要求等については窓口としての担任を配置している。	4	
7	11	教授資格、教歴及び背景など、学習サービスを担当するファシリテーターのプロフィールについて、オープンキャンパスなどで紹介しているか	4	オープンキャンパスでは体験授業と共に学科説明を実施しており、その中で常勤講師や非常勤講師の略歴を一部紹介している。	4	
7	12	学習サービスの請求書は、明確、かつ学習者(又は適切な場合には経費支弁者)が何の代金を請求されているのか理解できるよう、必要な全ての詳細を含んでいるか	4	特に補助活動費については明細にて徴収額の詳細な内訳を明示し、何にいくら使用するのかを明確に示している。	4	
7	13	学習者又はスポンサーから要請があった場合には、支払の証明を提供しているか	4	学校指定の振込用紙を利用した場合は振込明細をもって支払証明としている。ATMやネットバンキング等を利用した場合は、手続き時に発行される明細をもって支払証明としている。	4	

① 課題

景気動向や18歳人口の減少を見越した、中・長期的な観点での入学者数を確保する取り組みが必要である。

② 今後の改善方策

小中学生向けの動物業界の魅力発信の機会増加に向けた取り組みを強化する。(お仕事体験、未来授業、未来トリマー等)

③ 特記事項

特になし。

8 教育の内部質保証システム		自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント	
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか (定期的を実施しているか)	4	各期ごとに学生による授業アンケートを実施し、授業内容、指導方法、使用教材、成果達成度などを評価・検証し、講師会にて共有している。5月に実施したオンライン授業のアンケートも実施した。	4	
8	2	評価の範囲、目標、根拠、基準、方法及びスケジュールを含む、モニタリング及び評価の手段などを考慮し、モニタリング及び評価のプロセスを設計しているか	4	学生必携評価規定にて、試験方法や時期、受験資格、評価方法、A評価等を取得するための目標指標、追試験等の試験後の流れを設計している。	4	
8	3	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(学習ニーズの充足や教育内容、カリキュラム、教材を評価しているか)	4	授業アンケートおよび教職員の面談による授業評価を実施している。オンライン授業は授業担当講師以外も聴講し、配信品質の確認をした。教材やユニフォーム等は年度末に検討し、更新している。	4	
8	4	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(適格者によるモニタリング及び評価を実施できているか)	4	講師のマスク着用や間隔の確保など、コロナ下での授業運営について教頭及び事務局責任者による授業点検を実施し、結果を報告書にまとめている。	4	
8	5	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	3	2020年度は5月に実施したオンライン授業を授業担当者以外も聴講し、授業品質や配信品質の確認をしたが、緊急的な措置であったため、確認の記録が残っていない。	3	実質的には4と思われるが今後の改善目標として3とした(安武)
8	6	学習サービスの提供に関わる教員・講師以外の職員は、自らの職務をやり遂げるために必要なコンピテンス及び適格性を有しているか	4	学生募集や就職先開拓など、営業的活動を主とする事務局に関しては、採用の際に営業スキルを主たる採用要因としている。	4	
8	7	全ての教員・講師に対して、当該学習分野又はスキル分野に関する必要なコンピテンスを有しているかを評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	全ての教員講師の入社面接を実施し、履歴書や面接をもとにコンピテンスを評価している。常勤講師は年に2回、成果・行動評価として教職員評価を実施している。	4	
8	8	専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員・講師の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	3	2020年度は教員の面談力強化を目的としたコーチング研修を開催した。コロナ禍により学会やセミナーが大幅に減少したことにより、研修機会は減少している。	3.2	実質的には4と思われるが今後の改善目標として3とした(安武) コロナ禍を考えると充分かと思われた(上野)
8	9	教員・講師に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか	3	専門能力開発の計画を企図し、2020年11月の面談にて能力開発したい分野をヒアリングし、計画の作成を進めるとともに、一部の計画を前倒して実行した。	3	実質的には4と思われるが今後の改善目標として3とした(安武)
8	10	職業関連分野における業界等との連携において優れた教員(専任・非常勤含め)の提供先を確保するなどの取組が行われているか	4	各学科業界のスペシャリストを配置できおり、企業訪問やイベント参加などで新たな提携先発掘などを行っている。愛玩動物協会、ハッピーグルーミング協会との連携を強化した。	4	
8	11	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内にある機密保護管理規定に則り、個人情報保護・管理に取り組んでいる。	4	
8	12	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	関連法規ならびに専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされており、その実態は5月に私立学校実態調査として静岡県に報告している。	4	
8	13	アセスメント結果のレビュー等が適切に行えるよう、文書管理規程や文書管理リスト(ファイル管理簿)が整備されているか	4	学内で保管すべき文書及びデータについて、文書管理台帳を作成し、文書管理規定に則って運用を開始している。	4	
8	14	自己点検・評価結果を公開しているか(報告では、学習サービスの目的を踏まえ、明確に結論及び根拠を説明しているか)	4	自己点検および学校関係者評価の目的と結論、根拠をまとめた報告書を公式WEBサイトにて公開している。2019年度よりISO29993に準拠した自己点検自己評価を実施している。	4	

8	15	代講が必要な場合、適格なファシリテーターが対応できるように手配し、当該ファシリテーターに学習サービスの準備及び提供について指導しているか	4	原則的には補講にて対応しているが、代行が必要な際の手順を教員マニュアルに明記し、研修を実施している。	4	
8	16	ファシリテーター及び学習者に対して、印刷教材・電子教材の複写及び利用に関する規則について情報提供しているか	4	教員マニュアルにて、教育機関での著作権の教育を実施している。また冗費削減の観点から、輪転機を導入し経費削減と効率化を実現している。	4	
8	17	教員・講師は、経験を有し、日本国内において認知されている教授資格を持っている、又は認知されている講師養成訓練を受けているか	4	専修学校設置基準第41条に規定される講師を採用し、授業が運営されている。	4	
8	18	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	4	コロナ禍での密回避、マスクの着用、定期的な消毒、換気などのガイドラインを定め教職員及び学生に周知し、コロナ下での教育の質保証を図った。	4	

① 課題

日々実施された授業環境点検の記録が残っていないことと、コロナ禍により教職員の能力開発の機会の減少が課題である。

② 今後の改善方策

- ①授業品質点検の結果を文書として記録し、学内ネットワークや教務部会の場を用いて共有する体制をとる。
- ②能力開発の計画を年度末までに完成させ、引き続き増加と思われるオンラインセミナーの成果を報告書として生かす。

③ 特記事項

特になし。

9 財務			自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	第三者である公認会計士・税理士による会計監査が行われている。	4	
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	決算後速やかに財務諸表を公式WEBサイト上に公開している。	4	
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	コロナによる地元進学志向への切り替わりもあり、次年度の入学者、特に3年制学科への入学者が大幅に増加した。そのため今後3年間の財務基盤は安定している。資金面、収支出面、銀行との信頼関係も引き続き良い。長期的な安定のための対策も今年度から本格的に着手し始めた。	4	非常に健全な財務で素晴らしい(上野)
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画は有識者の助言のもと適切に作成され、予算と実績の差はほぼ無い。健全経営を継続している。	4	

① 課題

建物設備の老朽化に伴う支出が増加傾向である。長期的な入学者の確保が求められる。

② 今後の改善方策

新たな教育商品の開発、商圏(営業エリア)の拡大をすすめる。

③ 特記事項

特になし。

10 社会貢献・地域貢献			自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	10月に一般向けトリミングセミナーへの会場提供、11月にはドッグトレーニング系の卒業セミナーを開催した。小学生向けトリミング体験イベントの開催や小中学校への出張授業で地域の小中学生へのキャリア教育貢献事業を実施している。	4	素晴らしい取り組みだと思う(上野) 15校で実施した中高でキャリア指導が出来なくて困っている。協力している。(鳥居)
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	先方からの依頼に対して都度参加を検討し、学生たちに斡旋している。コロナ禍でボランティア自体が減少傾向となった。	4	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	近隣小中学校の職場体験の受入れや出張授業、高校との提携授業、小中学生対象の職業体験イベントを通して、社会や地域に貢献する活動を実施している。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

小中学校との連携や小中学生への啓蒙活動は引き続き強化する。

11 国際交流(必要に応じて)			自己点検 自己評価	自己評価の理由	学校関係者 評価	コメント
11	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—	留学生の受け入れ等を行っていない	—	
11	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—	留学生の受け入れ等を行っていない	—	
11	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—	留学生の受け入れ等を行っていない	—	
11	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか (該当する場合には、広く知られている国内又は国際的(測定)尺度を参照しているか)	4	実施する教育について国際基準に基づく第三者評価を受け、認証を取得している	4	

① 課題

コロナ禍における海外授業の代替研修の企画が不完全であった。

② 今後の改善方策

2021年度は海外授業を①海外実施の場合 と②国内代替実施の場合 の双方で準備をする。

③ 特記事項

特になし。